

九州森林管理局交渉（全国林野関連労働組合九州森林管理局分会）

議事要旨

1 日時 平成30年3月12日（月）17:30～18:29

2 場所 九州森林管理局 会議室

3 出席者

九州森林管理局	両角 実	総務企画部長
同	古閑 博行	総務課長
同	篠村 和希	総務課課長補佐（総務担当）
同	金田 伸也	総務課課長補佐（福利厚生担当）
全国林野関連労働組合九州森林管理局分会	松永 雄治	委員長
同	小谷 豊	副委員長
同	佐藤 剛	副委員長
同	花田 孝文	書記長
同	寺地 祐人	執行委員
同	迫本 翔太	執行委員
同	北里 春香	執行委員

4 交渉項目

- (1) 超過勤務時間の削減と年次有給休暇の取得について
- (2) 非常勤職員の雇用確保について
- (3) 事業実行にかかる予算の確保について
- (4) 人事異動に伴う職員の勤務条件の改善について
- (5) 職場環境の改善について
- (6) 車両の更新等について
- (7) 無人航空機の運用について

5 議事概要

- (1) 超過勤務時間の削減と年次有給休暇の取得について

組合) 超過勤務時間の削減に向けた対策とその効果はどうか。また、業務が特定の者に偏ることがないように取り組んでもらいたい。併せて応援体制の確立、定時退庁日の呼び掛け等職場環境づくりを再度お願いしたい。

当局) 今年度は、昨年度に発生した熊本地震や7月の九州北部豪雨災害に伴う対応により、治山課をはじめとする関係職員には前年に引き続きご苦勞をお掛けしているところである。そのような中当局としては、新たな職員の配置や他局からの応援等をいただきながら、職員の労働負担軽減に努めたところである。今後も、業務割り振りの見直しや事務改善、再任用職員・非常勤職員の活用を図りながら超過勤務時間を減少させ、併せて目配り気配りを行い、特定の職員に業務が偏らないよう努めて参りたい。また、年次休暇については、取得しやすい職場環境づくりに努めて参りたい。なお、定時退庁日を浸透させる取り組みの方法については今後検討して参りたい。

- (2) 非常勤職員の雇用確保について

組合) 職員の労働過重を改善する方策の一つとして、非常勤職員の確保が重要と考えている。各課から要望される非常勤職員の雇用について確保をお願いしたい。

当局) 平成30年度の非常勤職員の予算については、再任用職員の雇用増により見合い分が厳しい状況であることは承知しているところであり、来年度の雇用形態について各課の意見を徴収したところ、人頭数を優先して確保したいとの意見であったことから、勤務形態を工夫して雇用を確保したところである。今後、各課等における再任用職員の配置状況や業務の状況に応じて、必要な場合には対応を検討する考えである。

(3) 事業実行にかかる予算の確保について

組合) 今年度、旅費の予算不足により出張を取りやめる等の支障があった。来年度については、支障のないように旅費予算の確保をお願いする。

当局) 旅費については、事業を実施するうえで重要であり、当然現場へ出張も必要であると認識している。また、出張旅費を効率よく執行するためには、各種会議等を可能な限りWEB会議にする等の工夫も必要と考えているところである。今後も必要な旅費予算の確保に努めて参りたい。

(4) 人事異動に伴う職員の勤務条件の改善について

組合) 異動の対象者が、その準備等で不利益を被らないためにも、早めの内報通知ができるよう引き続きお願いしたい。

当局) 要望については、引き続き上部進達して参りたい。

(5) 職場環境の改善について

組合) 各係で業務量のアンバラを感じる。業務の平準化を求める。

当局) 各課長等がリーダーシップを発揮し、課内の目配りを行いながら業務多忙な係等の把握に努めるとともに、課内の応援態勢も検討して参りたい。

組合) パソコンの共有フォルダーについて、容量が少なく不具合が発生している状況であり、仕事がやりにくくなっている。何らかの対策を講じてもらいたい。

当局) 引き続き、不要なデータの削除やバックアップの徹底について、注意喚起を行って参りたい。

組合) セクハラ・パワハラについて、未然防止に努めて頂きたい。

当局) セクハラ・パワハラについては社会問題となっており、重要な問題と認識しているところ。各種会議等の場において指導を行っているところであるが、勤務時間内外に関わらず管理監督者等が先頭に立って、目配り、気配りを行うとともに未然防止に努めて参りたい。

(6) 車両の更新等について

組合) 車両関係については、職員の安全にも関わることから今後も計画的な更新をお願いしたい。

当局) 車両の更新にあたっては、今後も予算付けも含め適正な更新に努めて参りたい。

(7) 無人航空機の運用について

組合) 無人航空機については、法令遵守等、適正な運用を図り事故防止に努めることとし、職員に対し研修等の実施をお願いしたい。

当局) 今後も、事故等がないよう適正な指導を実施するとともに、必要に応じて研修を計画して参りたい。